

～ みんなで乗って、育てよう ～

「のりあい交通」 運行中

のりあい交通とは、利用者があらかじめ予約をして、同じ方面に行くかたと乗り合いながら目的地に移動する公共交通機関です。

詳細は、市公式ホームページまたは地域振興課へお問い合わせください。

のりあい交通
ホームページ



4月から、午前中に1台増車され、
3台での運行となりました！



インターネット予約が便利です♪

スマートフォンやパソコンからお好きな時間に予約できます。



1 ログイン

※IDとパスワードが必要です。予約センターに電話し「インターネット予約希望」とお伝えください。後日IDとパスワードを郵送します。(すでに利用者登録済のかたに限りです。)



2 目的地・日時・乗車人数を入力して検索



3 希望する時間を選択して予約



5 予約完了!



4 予約の確認

パソコン・iPhone
予約サイト



Android
予約アプリ



問合せ 地域振興課公共交通推進室 内線382

人権それは愛

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて ～人権について今一度考えよう～

延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックの開催が間近に迫っています。オリンピックはもともと、スポーツを通じた教育や平和のために誕生した祭典で、人権と深い関わりがあります。

「近代オリンピックの父」と呼ばれるフランスの教育家、ピエール・ド・クーベルタン男爵は、スポーツは体を鍛えるだけでなく、心身の調和のとれた人間を育成し、フェアプレーの精神や友情、道徳、連帯感を育むことができると考えました。さらに、国際的な競技会で他国の選手と親しくなり、多様な文化や芸術に触れることで、平和な社会の実現につながると考え、オリンピックのあるべき姿として、「オリンピズム(オリンピック精神)」を提唱しました。

国際オリンピック委員会が定めるオリンピック憲

章には、人権尊重の理念として、「権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。」とうたわれています。

東京オリンピック・パラリンピックはコロナ禍での開催ということもあり、世界からより一層の注目を集めます。国籍の違いや障がいの有無など、さまざまな違いを理解し、相手の気持ちを考え、お互いの心を通わせることが求められます。

開催国として、世界のお手本となるよう、今一度人権について考え、意識を変えていく必要があるのではないのでしょうか。